

職場から消えた「社員自殺問題」の新聞記事！ 誰が、何のために！？

社員の自殺問題を報じた『中日新聞』記事が、東海鉄道事業本部（名古屋）管内の運輸区職場の新聞棚から抜かれていたことが判明しました。社員が閲覧できるように、各職場に置いてある新聞です。

この記事を書いた4月5日、名古屋運輸区で新聞を閲覧しようとした社員が、記事が記載されているページが無いことに気付きました。また他区所でも同様にページが抜き取られていたことも判明しました。

今まで、新聞の一部が抜き取られていたことはありませんでした。同じ記事が抜かれていたとなると、単なる偶然ではなく、意図的にやられたと疑いたくなりませんか？記事を見られは困るのでしょうか？

もしそうだとすると、言論統制に匹敵するのではないのでしょうか？ JR東海労は、このような行為は民主主義に反する行為であると、強く抗議します。

「出勤遅延未遂」責められた職員が自殺



始業前出勤が時間外労働となる場合

始業前

「朝活」ブームで、早朝から一日のスタートを切る人多い。だが、それが仕事絡みで上司の指示に基つくな。時間外労働として扱われ、労働基準法の制約を免れるのが弊。始業前出勤はあくまで自主的な掛け、それとも事実上の強制か、はさまる。こんなケースだ。男性のケースを巡った。

今年、月十七日、滋より、時間前に出勤する買戻りの山林で、二十のよう「奨励」された。一歳の男性が自命をいたのだ。

絶った姿でつかつ 失職する数日前、男。男性はJR東海に、性は定時の二十分前に入社して二年、職員だ。出勤した。だが上司つた男性は家から姿を、は、時間前に出勤し、消し、家族や友人が行なかつたことと理由方を捜していたのだ。

に、「出勤遅延未遂」家族が上司から聞いた説明で、経緯が浮かび上がった。男性は以前、始業時間遅刻したところ、定時



着替え



朝礼



勉強会

※出席状況が評価される場合

↓

労働時間

会社の「指揮命令」の下に置かれている時間

上司の「奨励」の性質 焦点

している。失職の含まれる最高裁が、たのかどうか、が問題前日、近所のホー 判断した。

ムセンターで男性 判断の基準は「労働 労働法にも詳しく労働を売って 者の行為が、使用者の 働非難の範囲外とされたことが、見つ 指揮命令下に置かれた長は「時間厳守」と言いかけたシートで、ものを評価できるかなら、働く者の時間分かった。男性のかた。朝礼や打ち合 を守つていないのは会社父親（き）は「息子 わせなく、上司が仕事 社側だ。大なる定時前が遺つたのは明らかに方針や手順を示し、 出勤を奨励すること目り、パワハラだ。事、本夫の不利益に いる」「指揮命令 遅刻未遂とは、遅なる場合は「指揮命令 男性の自殺については、刻していない意味、下」に記すは、 JR東海労は、この点に追いつけるまで勉強会を開く。朝 社と選族との関係の「青い花は、活」は、そのか、コメントは、しませまらなかつた。自、本人の自由意思で」としている。

「指揮命令下」なら労働時間

と指摘、理田明らか、会社は明らかでないように、プライベートを含めて、前日からの行動記録を提出 始業前に余裕を持つて出勤するのは、一般以上、始業前に勤務するよう求めた。その提出期限は男性に提出するが、その体はたが、職場に連れて行く良いと人。の責任を問うことは出来て提出しよう約される。だが仕事に密に求まった。しかし、男に接するとは本来的に「性」が分らなくなつて、行 来、労働時間含まれ、性は強要した。以前、週遅刻した際、それを争った大連裁判のた。か、上、男性は「週遅刻にわたつた。社をめぐり、裁判。たのかか、おまて勤務を外され、「反」では、〇〇年、月、が遅刻の「未遂」をた省 を追られる経験着、管見時間労働時間 だしたことが正当な

始業前出勤 強制か心掛けか

参加している限り、労働時間には入らない。だがその「朝活」を上司が奨励し、昇進や給与、待遇を判断する材料となる場合、指揮命令下である疑いは濃くなる。会社側が始業前出勤を労働時間と見なす以上、始業前に勤務するよう求めた。

もし意図的なら言論統制、民主主義の否定だ！